

いろいろなボランティア活動

なにを



かつどうないよう 活動内容

自分の特性や時間的な条件を考え、自分にできる活動、したい活動は何かを考えましょう。

○物品による支援・・救援物資、物品、器材、車両等の提供

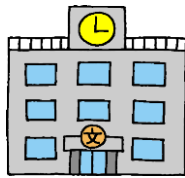
○金銭による支援・・義援金、寄付金、共同募金

○労力による支援・・介助等の直接援助活動、清掃活動

話し相手、相談相手、お便り活動

○技術による支援・・理容・美容活動、通訳、点訳・手話、芸能

とこで



かつどうばしょ 活動場所

自宅・学校・職場など、普段の生活の場の中で活動したいのか、病院や福祉施設など、地域へ出て活動したいのか、考えましょう。

○家庭で・・使用済み切手等収集活動、点訳・朗読

○地域で・・見守り、防犯・防災、清掃活動、まちづくり

○施設で・・入所者とのふれあい、行事に協力、労力提供

○学校で・・使用済み切手等収集活動、リサイクル運動、交流

○職場で・・技術の提供、各種募金活動、施設の開放

○海外で・・救援活動、技術指導、環境保護

なんのために



かつどうぶんや 活動の分野

どんな人のための活動がしたいのか、何のための活動がしたいのか、考えましょう。

○福祉・医療・・要援護者への家事援助活動、給食活動、施設

病院ボランティア、点訳・手話

○教育・文化・・レクリエーション活動の指導、文化財の保護

○生活・環境・・ゴミの分別収集、リサイクル活動、清掃活動

野鳥保護、街路樹・海・川の保護

○国際交流・援助・・通訳活動、ホームステイ協力・支援、

留学生支援、外国人との交流

し ころ じゅっ か じょう 知っておきたい心がまえ十ヶ条

1 じぶん あ み まわ
自分に合った身の回りのこと
からてがけましょう。

ボランティア活動は、まずあいさつや、
高齢者・身体の不自由な人に席をゆずること
から始めましょう。

2 あいて もと あ
相手の求めていることに合わ
せて活動しましょう。

自分勝手な計画をたてたり、善意の名をかり
て押し付けることはやめ、相手の立場に立っ
て行動しましょう。

3 お り けいかく
無理のない計画をたてましょう。

自分自身やグループの力量にあわせて無理
のない計画をたて、細く長く自分の生活リズ
ムに組み入れた活動にしましょう。

4 やくそく まも
約束は守りましょう。

人と人との信頼関係によって成り立つもの
です。
活動の場での約束は守り、責任ある行動をと
りましょう。

5 ひみつ まも
秘密は守りましょう。

いろいろな人の悩みや問題の相談を受ける
ことも多くあります。個人のプライバシー
に関することは決して他言しないこと
です。秘密を守ることは活動における信頼
関係を深めるために不可欠です。

6 がくしゅう じぶん せいちょう
たえず学習し、自分を成長さ
せましょう。

いろいろな問題にぶつかります。活動の反省
をし、評価を行い次の活動が効果的に行わ
れるように備えることが望めます。そのた
めには、学習していかなければなりません。

7 しゅうきょう せいじかつどう くべつ
宗教や政治活動と区別しましょう。

自分の信仰している宗教や支持している
政党などを活動の中で相手に勧めたり強要し
てはいけません。
信仰の自由、思想・信条の自由をお互い守り、
尊重しましょう。ボランティア活動は、人権
尊重そのものであるという重い意味をかみ
しめましょう。

8 けんきょ たいせつ
謙虚さも大切にしましょう。

善意というものは、押しつけになればかえ
ってマイナスです。
決して「してあげる」という発想ではなく、
協力者であり援助者であるという立場で
尋ねる姿勢、学ぶ姿勢が必要です。

9 りかい きょうりよく え
まわりの理解と協力を得て
おきましょう。

家族の理解と協力を得ておきましょう。
また、職場、学校などで理解や関心を持っ
てもらうことが、ボランティアの輪を広げ
ることにつながります。

10 あんぜんたいさく じゅうぶん
安全対策を充分にしましょう。

万一の事故に備えて安心して活動できるよ
うに活動場所の点検をしたり、事故が起こ
った場合の対応を学習することも必要で
す。ボランティア保険への加入をお勧めし
ます。